

県内各地で葉いもちの発生が確認されました
上位葉の葉いちは穂いもちの発生源になります
ほ場を見回り、病斑を確認したら直ちに防除しましょう！

- ・作物名 : 水稻
- ・病害虫名 : 穂いもち
- ・対象地域 : 県内全域
- ・予想発生量 : 多
- ・発生時期 : やや早い

巡回調査: 7月 15～16, 19～21 日

天候予報: 1か月予報(仙台管区气象台7月 15 日発表), 2週間気温予報(〃 7月 21 日発表)

1 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果, 発病株率は低いものの(2,000 株中1～2株程度の発生), 発生地点率が30.4%(平年値 4.0%)と平年より高かった。
- (2) 北部平坦部での中生品種の出穂期は7月30日頃と予測され, 平年(8月3日)よりやや早い見込みである。
- (3) 平均気温が 19～25℃, 曇りや雨が多いことが発生に好適であり, 向こう2週間は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予報されている。また, 2週間気温予報の最高気温は1週目は平年並か低く, 2週目は平年並と予報されている。



写真 確認された葉いもち

2 防除のポイント

- ・上位葉の葉いちは穂いもちの発生源になります。ほ場を見回り、本田での発生が見られた際は速やかに茎葉散布剤で防除してください(主な薬剤は表1を参照ください)。
- ・茎葉散布剤による穂いもち防除は, 1回目を出穂直前, 2回目を穂揃期に実施してください。
- ・葉いもちの発生が多く, 穂いもちが多発するおそれがある場合や, 出穂期間が長引く場合は, 3回目の防除を穂揃期の7～10 日後に実施してください。
- ・穂いもちの予防防除を実施していないほ場や葉色が極端に濃いほ場は発生に注意してください。穂いもちの予防防除を実施した場合でも, 本田での発生が見られた際は, 速やかに茎葉散布剤で防除してください(表1)。
- ・BLASTAM による最新の葉いもちの感染好適条件の推定結果は以下のHPを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

表1 いもち病の主な薬剤(令和3年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋)

薬剤名	使用時期	使用量・希釈倍数・散布液量	使用回数	FRACコード (有効成分)	備考
トライフロアブル	収穫14日前まで	1,000倍, 60~150L/10a	2回以内	U16(テブフロキン)	
		無人航空機 8倍, 0.8L/10a			
ノンプラス粉剤DL	収穫7日前まで	3~4kg/10a	2回以内	U14(フェリムゾン), 16.1 (トリシクラゾール)	
ノンプラスフロアブル	収穫7日前まで	1,000倍, 60~150L/10a 無人ヘリ 8倍, 0.8L/10a			
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	3~4kg/10a	2回以内	U14(フェリムゾン), 16.1 (フサライド)	
ブラシフロアブル	収穫7日前まで	1,000倍, 60~150L/10a			
ブラシンゾル	収穫7日前まで	無人ヘリ 8倍, 0.8L/10a			
ブラシンバリダ粉剤DL	収穫14日前まで	3~4kg/10a		U18(バリダマイシン), U14(フェリムゾン), 16.1 (フサライド)	紋枯病との同時 防除が可能
ビームゾル	収穫7日前まで	1,000倍	3回以内	16.1(トリシクラゾール)	
		無人ヘリ 6~8倍, 0.8L/10a			
ビーム粉剤DL	収穫7日前まで	3~4kg/10a			
ラブサイドベフラン粉剤DL	穂ばらみ期~穂揃期 ただし, 収穫14日前まで	3~4kg/10a	3回以内	M7(イミノクタジン酢酸 塩), 16.1(フサライド)	稲こうじ病との同 時防除が可能
フジワン乳剤	収穫14日前まで	1,000倍, 60~150L/10a	2回以内	6(イソプロチオラン)	
		無人航空機 8倍, 0.8L/10a			
フジワン粉剤DL	収穫14日前まで	3~4kg/10a			

※令和3年7月7日現在の登録内容(FRACコードは, 殺菌剤の作用機構分類を表す)

※使用回数は有効成分毎の総回数のため, 他の薬剤で同一の有効成分を含む場合があるので注意してください。

— 農薬の適正使用について —

- 1 ラベルに記載されている適用作物, 使用時期, 使用方法等を十分に確認する。
- 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い, 適切な保護具を着用する。
- 3 農薬の使用前後には, 防除器具を点検し, 十分に洗浄されているか確認する。
- 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し, 周辺環境への飛散防止に努める。
- 5 農薬は計画的に購入・使用し, 使い切るよう努める。
- 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳する。

※薬剤の選定に当たっては, 最新の農薬登録情報を確認してください。

農林水産省の農薬登録情報提供システム:<https://pesticide.maff.go.jp/>

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429 E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

農薬危害防止運動実施中！(6月1日~8月31日まで)